

平成21年度財団法人国際エメックスセンター事業計画

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

・事業方針

我が国及び海外における閉鎖性海域の環境保全に関する取組みの連携の強化を図り、積極的にこれに貢献するため、人的・知的ネットワークの有効活用を図るとともに、国内外の閉鎖性海域の環境保全に取り組む様々な市民、機関、研究者等の参加を得て、「多様な自然と人間が共生する持続可能な社会」を目指した事業を推進する。

・事業計画

1 閉鎖性海域環境保全推進事業

(1) 国際連携・協力事業

ア 第9回世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）の開催準備

世界閉鎖性海域環境保全会議（エメックス会議）は、人類共通の財産である閉鎖性海域の恵沢を次世代に継承していくことが大きな責務であるという観点にたち、世界の科学者、行政担当者、企業関係者、市民、NGO等が一堂に会し、国際的・学際的な情報の交流の場として、また新たな取組みの提案の場として、平成2年（1990年）に第1回会議を開催以来これまで8回にわたり、世界各地で開催されてきた。

その成果をさらに発展させるため、継続的な会議開催が必要とされている。このため、第9回会議（EMECS9）を平成23年（2011年）に米国メリーランド州・ボルチモア市で開催することとし、必要な準備作業を行う。

イ エメックス国際ワークショップの開催

里海は日本の沿岸域環境管理のキーワードとなり、EMECS8において大きく取り上げられた。この流れをEMECS9につなげるとともに、特に東アジア諸国との連携を深めるため、東アジア海域環境管理パートナーシップ（PEMSEA）と連携し、里海に関する国際ワークショップを東アジア海域会議2009（EAS Congress 2009：2009年11月23日～27日、フィリピン・マニラ市）の一環として開催する。

ウ 国内外機関とのパートナーシップの形成

2008年に非政府パートナーとして参画したPEMSEA等海外機関とのパートナーシップの充実を図る。

また、2010年、名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議に向け、国内の閉鎖性海域の環境管理に取り組むNPO等と連携して海洋環境保全フォーラムを開催する。

(2) 調査研究事業

ア 閉鎖性海域における環境保全・創造方策に関する調査研究

水質や底質、生物の生息環境の劣化等の進んだ湾奥部の環境の再生をめざして尼崎港に設置している人工干潟等の実証試験施設を活用し、共同研究の場を提供する。

イ アジアへの技術移転に関する調査

日本の水環境再生技術の海外移転については、特に中国及びタイについて調査研究を実施してきた。タイにおける技術移転ニーズを精査し、実施に向けて事業調整を行う。

2 情報収集整備活用事業

ア 情報収集・提供システムの運用・管理

情報交流の基盤として、平成20年度に改定したインターネット・ホームページ（日本語版及び英語版）の運用、管理を行うとともに、メール配信システムの充実を図る。

科学・政策委員等の協力を得て各種レポート等を収集するとともに、日本の里海に類似する海外の取組みなどについて情報収集を行い、ホームページの充実を図る。

また、内外の関係者が、閉鎖性海域に関する水質等の環境データや社会経済データ等の情報を、インターネットを通じて検索し活用できる「閉鎖性海域環境情報システム」の運用・管理を行う。

イ 世界閉鎖性海域環境ガイドブックの作成

世界各地の閉鎖性海域について約20海域をとりあげ、当該海域の環境管理に関する情報を体系的に整理した資料を日本語及び英語で作成する。

ウ EMECS8会議報告書の作成

平成20年10月に中国・上海市で開催したEMECS8の成果を普及させるため、EMECS8の主な発表内容等を掲載した冊子を日本語及び英語で作成する。

エ エメックスニュースの発行

当センターの活動状況、世界の閉鎖性海域の環境保全活動等を掲載した「エメックスニュース」を年2回、日本語及び英語で発行する。なお、ニュースレターの配布については、原則ホームページからのダウンロードによることとする。

3 人材育成事業

ア 閉鎖性海域の水環境管理研修

我が国の閉鎖性海域における環境保全の経験を基に、開発途上国の中堅行政官を対象とした「閉鎖性海域の水環境管理技術研修」を国際協力機構（JICA）の委託により実施する。

イ 海の環境学習人材育成事業

地域団体等を対象とした海の環境学習活動を推進するため、御前浜の人工浅場や尼崎港内の人工干潟等を活用し、関係機関の協力を得て、講義や生物観察会を実施する。

ウ 国内外の若手研究者を対象とした能力開発

閉鎖性海域の環境問題について研究を行っているアジア太平洋地域の若手研究者を対象に、テーマをしばったワークショップをAPN連携事業として次年度に実施すべく、事業調整を行う。

また、エメックス会議へ国内外の若手研究者の発表・参加を支援する取り組みをスタートさせる。

エ 世界の学生を対象とした小論文コンクール

世界の学生が、閉鎖性海域の環境保全について関心を持つとともに、EMECS9の青少年環境教育交流セッションを充実させるため、世界の学生を対象とした小論文募集を平成21、22年度にわたって行い、優秀者をEMECS9に派遣する。

4 普及啓発事業

ア エメックス国際セミナーの開催

海外における閉鎖性海域の環境保全の取組について、県民、企業、行政機関等が最新情報を得て、海外関係者との情報交換を行うため、公開セミナーを開催する。

イ 環境イベントへの出展等

エメックス活動の普及啓発と閉鎖性海域の環境情報の発信のため、各種の環境イベント等に出展を行う。